

選択的評価基準：地域貢献の取り組みについて

【選択的評価基準】 地域貢献の取り組みについて

(a) 現状

本学では、学生のほとんどが青森県と岩手県（スクールバス通学圏内）の地元地域から入学し（過去5年間の平均では98%が両県出身者で占められている）、卒業生の約6割が出身県に就職している（平成27年度の卒業生は61%がこの両県内に就職した）。在学中も地元で実習を行っており、地域と密接な関係を築いている。教職員も地域の行政、商工業、教育機関、文化団体との交流活動を活発に行っている。

このような現状から、本学では平成25年度から「地域貢献の推進」を重点目標に掲げ、地域貢献活動を通じ、実践教育で学生の自主性と独自性を涵養する教育活動を展開している。平成27年度の事業計画は、「地域貢献の推進を引き続き実践し、学生の自主性の涵養と独自性の発揮を重点目標に掲げ、日々の教育を行う」である。幼児保育学科では「地域の保育に貢献できる保育者を養成する」、ライフデザイン学科では「学生の自立性・社会性を育成する」、看護学科では「地域の医療に貢献できる看護師を養成する」と目標を定め、地域との関わりの中で人材育成に取り組んでいる。全学的には地域学の導入や地域人の招聘を奨励し、学生や教員の地域研究活動の活性化を図っている。（地域貢献資料-1）

平成27年度地域貢献活動報告によれば、教員の地域貢献活動は178件（幼児保育69、ライフデザイン30、看護79）となっている。

学科ごとの活動内容を分類すると次のようになる。（備付資料-84）

表1 平成27年度 学生（教員）の地域貢献活動

| | 幼児保育 | ライフデザイン | 看護 | 計 |
|-----------|------|---------|----|-----|
| A 地域活力の創出 | 25 | 15 | 24 | 64 |
| B まちの魅力創造 | 27 | 9 | 10 | 46 |
| C 地域の安心確立 | 10 | 5 | 38 | 53 |
| D 自治力の向上 | 7 | 1 | 7 | 15 |
| 計 | 69 | 30 | 79 | 178 |

※八戸市総合計画後期推進計画・戦略プロジェクト四つの柱による分類

この表の数値から本学の地域貢献は「A地域活力の創出」「Bまちの魅力創造」「C地域の安心確立」に関わる活動が多いことがわかる。本学の地域貢献活動は「個性あるまちづくり」の展開と「子育て支援及び教育環境の充実」「健康づくりの推進と暮らしの相談体制の充実」など市民が安心して暮らすことのできるしくみづくりに関わる活動を行っているといえる。

「公開講座」に関しては、「八戸学院大学・八戸学院短期大学地域連携研究センター（以下、「地域連携研究センター」）」において大学と合同で公開講座を実施している。平成27年度の短期大学の公開講座は3講座であった。また、「生涯学習事業」では八戸市の高齢者教室「鷗盟大学」に参画しており、毎年本学の教員が講座を担当している。（地域貢献資料-2,3）

「正規授業の開放」については平成24年度からFD活動の一環として学内外授業参観を実施している。前・後期の2回、期間を定めて学外への授業公開を実施している。平成27年度は2

名の参観者があった。(備付資料-29)

平成21年度から大学と合同で「教員免許状更新講習」を開講している。地域の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員が対象で、大学と短期大学の教員が講義・演習を担当している。平成27年度は夏期810名、冬期573名、合わせて1,383名が受講した。教員免許状更新講習は地域に定着し、受講者から一定の評価を得ている。(地域貢献資料-4)

地域社会の行政、商工業、教育機関および文化団体等と交流活動については、多数の教員が個々に地域からの要請に応じて多くの講座(講演会・研修会等の講師)を担当している。平成27年度の合計は48講座であった。担当した教員数は幼児保育学科9名、ライフデザイン学科3名、看護学科10名、合計22名となっている。内容は子育て・福祉・音楽・美術・体育・食育・コミュニケーション・IT・医療・看護等多岐にわたっている。教員の社会活動としては、14名の教員が29の各種委員会の委員やアドバイザー等を務め、行政・商工業・教育機関および文化団体等と交流活動を行っている。(備付資料-50)

表2 平成27年度 教員の地域貢献活動 ()内は平成26年度

| | 幼児保育(人) | ライフデザイン(人) | 看護(人) | 計 |
|-----------|---------|------------|--------|-----|
| 講座・研修等 | 26(9) | 6(3) | 16(10) | 48 |
| 委員・アドバイザー | 9(4) | 11(4) | 10(6) | 30 |
| 調査・相談、その他 | 34(11) | 13(6) | 53(17) | 100 |
| 計 | 69(24) | 30(13) | 79(33) | 188 |

次に学生の活動としては、学科ごとに地域に開かれた多彩な行事を展開しており、学生は学びの成果を地域に公開することによって、共感や励まし、アドバイス等を受け、行事ごとに大きな成長を見せている。

幼児保育学科では八戸市主催の「はちのへ子どもフェスタ」における「オペレッタ」発表や学生祭に会場した子供を対象にした「手づくり子どもの部屋」、ゼミナール活動として行っている地域行事での「読み聞かせ」、「幼小連携をテーマとした講演会」などを実施し、地域との連携を重視した活動を展開している。学生には年3回以上の保育に関わるボランティア活動を行うよう指導している。(地域貢献資料-5, 6, 7)

ライフデザイン学科では、ゼミナール学生中心の活動として、青森県立美術館で行われた「秋のおはなし美術館」での「日英朗読劇」への出演、「田子町の地域資源掘り起し事業」への参加、「食育活動」、「八戸せんべい汁研究所」が行う「まちおこし」イベントへの参加、「地元ケーブルテレビ局」の番組を制作するなどの多彩な活動を行っている。学科としては、毎年実施している「ボランタリデー」で「赤い羽根」共同募金や「三陸復興国立公園種差海岸地区」のPR活動など、テーマを決めて地域ボランティア活動を展開している。平成27年度は「B-1グランプリin十和田」にボランティアスタッフとして参加した。そのほか、インターンシップやNPO論などの授業でも、社会と密接に繋がる機会を設けている。(地域貢献資料-8)

看護学科では、学生は三八・上北・下北地区の広範囲の医療機関で実習を行い、地元医療機関との連携により実践力を身につけている。学生の多くは地元での健康調査や健康に関す

るイベントに参加し地域貢献をしている。毎年9月に実施される八戸市の「八戸健康まつり」には、多くの学生ボランティアが参加し、来場した市民の身体測定・血圧測定・骨密度測定等を行っている。（地域貢献資料-9）

この他に全学的な地域行事への参加として、「八戸小唄流し踊り」（八戸市七夕祭り前夜祭）がある。なお、平成25年から参加している「リレー・フォー・ライフ」（癌に強い社会を作るための運動）には、今年も看護学科を中心に有志の教職員・学生が参加した。（地域貢献資料-10, 11）

平成27年度の学生ボランティア活動は、届出のあったもので参加件数46件、参加者数339名となっている。保育所や幼稚園・福祉施設の行事の手伝い、サッカー幼児大会補助などである。この他に土曜日や日曜日、休日などに個人的にボランティアをしている学生が多数いる。（地域貢献資料-12）

(b) 課題

地域社会に向けた公開講座は、本学単独では集客力が弱いため、地域連携研究センターと連携し、大学と合同で実施している。受講者からは高い評価を得ているが、公開講座、公開授業とも学外からの参加者が少なく、この点に大きな課題がある。これまで場所や時間、内容、対象者等を勘案してさまざまな試みを行ってきた。今後の取り組みを新たに考えるべき時が来ている。

本学は長年多くの教員や学科が地域の団体と交流を持ち、活動している。しかし、個々の活動が単発、散発的に行われており、全体の連携や情報共有がなされていないのが問題であった。平成26年度より「地域貢献報告書」が提出されるようになり、活動の実態が明確になった。地域連携研究センターは、本学教員が地域と個別に交流を持ってきた活動を、組織的・体系的に展開するために設立された組織であり、今後、地域連携研究センターとの情報共有、連携した活動が展開されなければならない。

学生のボランティア活動の報告数は学科により偏りがみられる。各学科のボランティア活動の掌握、指導、報告体制の整備が必要である。

(c) 改善計画

公開講座に関しては、当面、地域連携研究センターと協力してPR活動を強化する。平成28年度から、地域の卒業生を対象に「保育の学校」を開催する予定である。

地域貢献に関しても協定締結地域（階上町、五戸町、新郷村、田子町、八戸市）を中心に地域連携研究センターとの連携を図る。

平成26年度の「地域貢献報告書」の分析により貢献の方向性が明らかになった。すなわち「地域活力の創出」「まちの魅力創造」「地域の安心確立」に貢献していることが実証された。平成27年度も同様の結果が得られ、件数と内容が拡充されている。2年を経過して、活動の方向性が検証されたことを踏まえて、地域文化の担い手としての活動を今後も継続していく。さらに今後は短大全体で発信や提案などを行い、地域を牽引する役割を果たしていきたい。

【備付資料】

備付資料-29 FD報告書

備付資料-50 ウェブページ各学科「教員一覧」「研究業績・社会貢献活動」

幼児保育学科：

<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/yoho/teacher/>

ライフデザイン学科：

<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/lifedesign/teacher/>

看護学科：

<http://jc.hachinohe-u.ac.jp/department/nurse/teacher/>

備付資料-84 地域貢献計画書、地域貢献報告書

【地域貢献資料】

地域貢献資料- 1 事業計画書（平成27年度）

地域貢献資料- 2 平成27年リカレント講座・公開講座

地域貢献資料- 3 八戸市鷗盟大学

地域貢献資料- 4 教員免許状更新講習

地域貢献資料- 5 はちのへ子どもフェスタ

地域貢献資料- 6 ゼミナール活動「読み聞かせ」活動ポスター

地域貢献資料- 7 「幼小連携をテーマとした講演会」資料

地域貢献資料- 8 平成27年度ボランティアデー実施要項

地域貢献資料- 9 八戸市環境・健康フェスタ2015ポスター

地域貢献資料-10 八戸小唄流し踊り

地域貢献資料-11 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015八戸ポスター

地域貢献資料-12 平成27年度ボランティア集計表